

「日本フライブルク・アルムニ会便り」

日本フライブルク・アルムニ会 会員各位へ

① 2014 年度総会

2014 年 6 月 14 日（土）に第 17 回通常総会をドイツ文化会館（港区赤坂 7-5-56）において開催し、今後の活動方針や今後の総会の開催形式などについて協議いたしました。最初にまずお詫びを申し上げたいと思います。本年度より新体制となりましたため、総会に可能な限り多くの皆様方に総会にご参加いただき、今後のアルムニ会の活動方針について、ご一緒に協議して参りたいと考えておりましたが、あいにく他の学会等の会合も重なっていたため多くの会員の皆様方にご参加いただけませんでした。また、長い間ご連絡申し上げずに誠に申し訳ございませんでした。私自身、アルムニ会会長兼事務局担当ということで、校務との兼ね合いもございまして皆様に大変ご迷惑をおかけしました。まだ関映子さんにもご迷惑をおかけしている状態ですが、徐々に無理のない程度の緩やかな組織作りをして行きたいと考えております。そこで、これまでのような会報の郵送ではなく、経費節約のためにメールにて皆様方に日本フライブルク・アルムニ会便りをお送りさせていただきますことをお許しいただければ幸いです。

② フライブルク大学アルムニ会オフィスとの協力関係

さて、今年の 3 月および 9 月に学会等でフライブルク大学を訪問した際に、フライブルク大学アルムニ会オフィス（責任者: Rudolf-Werner Dreier, Albert-Ludwigs-Universität Freiburg, Leiter Alumni Freiburg, Fahnenbergplatz 79098 Freiburg Tel.: ++49-761 / 203-4300 / -4302 Fax: ++49-761 / 203-4278 e-mail: rudolf.dreier@pr.uni-freiburg.de, www.alumni.uni-freiburg.de）との懇談をして参りました。今回の現地で少しばかりの広報活動ではありますが、早速、早稲田大学からの交換留学生などとも交流する機会がありましたので、まずは交流の輪をどのように広げていくかが今後のアルムニ会の鍵となりそうです。そこで、今回のフライブルク大学アルムニ会オフィスとの協議では、どのようにしてフライブルク大学の教員と交流し、かつ、若手の会員を増やしていくかという点について中心に話し合いました。

第一に、フライブルク大学にご協力いただき、フライブルク大学の公式の日本訪問がある際には、可能な限り事前にお知らせいただき、学長や著名な先生方の講演会を企画するということです。

第二に、現在、フライブルクに滞在している日本人学生、院生、若手教員とのコンタクトをとる方策を考えて、アルムニ会に入会していただくことです。ポスターやパンレットなども作成していただく予定です。

第三に、若手の会員の力を借りていかにして会員同士の意思疎通をソーシャルネットワークなども利用して実行していくかです。

現在、フライブルク大学医学部でドクターを取得され、勤務されている大島俊之先生とも、現地の日本人との交流についても協議して参りました。大島先生から現地で日本人との交流から様々な情報を提供していただいております。すでに複数名のフライブルクに留学されている方からお問い合わせをいただいております。（Dr. Dr. Toshiyuki OSHIMA, Charlottenburger Str. 2/801 79114, Freiburg, Germany, mail: oshimat@hotmail.com）

なお、フライブルク大学の近況につきましては、下記の Almunimagazin をご覧いただければ幸いです。<http://www.alumni.uni-freiburg.de/service/alumnimagazin/unialumni>

- ③ 2014 年 11 月 16 日(土)18:00-20:00 で東京・新宿「寅福」においてフライブルク大学国際課 Christian Tischer さん、そして今回はじめて訪日された同大学・国際語学コース Astrid Nothen 先生および Dorothea Rösch 先生と関東地域・アルムニ会メンバー（青井裕美さん、高橋岩和さん、橋本和大さん、杉崎祐一さん、関映子さん）とで交流会を開催いたしました。



（左から国際課 Tischer さん、橋本さん、杉崎さん、
右は吉田さん、Rösch さん）



（左から、Rösch さん、吉田さん、右は Tischer さん、
青井さん、関さん）

最後に、昨年は皆様方に大変お世話になりました。本年も日本フライブルク・アルムニ会の発展のために可能なかぎり努力して参る所存です。今後とも何卒ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。Ich wünsche Ihnen und Ihrer Familie ein Neues Gutes Jahr 2015 !

~~~~~

### 『今後の日程と学術企画についてのお知らせ』



2014 年 9 月 16 日（火）20:00 にフライブルク大学法学部 Prof.Dr.Dr.Dres.h.c. Rolf Stuermer と 2015 年 5 月 11 日から 22 日まで立命館大学法学部客員教授として来日する際の日程等について協議した。2015 年 5 月 15 日(金)に東京でシュトゥルナー教授の講演会を開催し、日本フライブルク・アルムニ会も開催する予定である。

2014年9月17日(水)10:00にストラスブルク欧州議会において Dr.Andreas Schwab 欧州議会議員と協議する機会があった。本来は10月1日に京都で講演会を予定していたが、欧州議会における欧州委員会の新しいメンバーのヒアリングが急遽開催されることになり、延期された。そこで、来年の訪日の際に日本フライブルク・アルムニ会での講演会についてお願いした。シュワーブ議員は、フライブルク大学で法学を学んだ後、同大学で法学博士後を取得した後に、欧州の舞台で政治家として活躍されている。



2014年10月27日(月)19:00に大阪・太閤園淀川邸において大阪神戸ドイツ総領事館主催によるドイツ連邦議会議員三名と随員を交えての関西のドイツ関係者との夕食会が開催された。その際、ドイツ連邦議会議員団の団長であるドイツ連邦議会 CDU/CSU 院内総務 Volker Kauder 議員とお話をする機会があり、次回の訪日の際には、

日本フライブルク・アルムニ会による講演会・懇親会に参加していただくように日程調整についてお願いした。カウダー院内総務は、ドイツ、フライブルク大学法学部で法学を学び、司法試験に合格した後、フライブルク大学職員・バーデン・ヴェルテンベルク州行政官を経て、政治家に転身された。現在は、メルケル首相の右腕的存在であり、ドイツ保守派の論客として知られている。この会合のあと、10月29日(水)には首相官邸で安倍総理と会談している。

---

ご参考までにこれまでの日本フライブルグアルムニ会の歴史(都築正和前会長作成)を下記に記載します。

### **\*\*\*\*日本フライブルグアルムニ会, Freiburger Alumni-Club Japan の歴史\*\*\*\***

1997年11月07日(金) Prof. Dr. Wolfgang Jäger 学長(当時)が呼び掛け、ドイツ文化会館に日本人フライブルグ元留学生約30人を招待。

1998年4月25日(土)16時 設立発起人会、Freiburger Alumni-Club Japan  
代表: 故 川井 健教授(帝京大学教授、元一橋大学学長)

1998年9月05日(土)17時 設立総会(第1回)をドイツ文化会館(東京)にて開催。  
会長に川井 健教授が就任。

1999年6月25日(土)第2回総会、立命館大学(京都)で開催。

1999年7月8日・17日 Freiburg Reise

2000年 第3回総会、4月2日（日）松山にて開催。

2001年 第4回総会、4月7日（土）名古屋にて開催。

2002年 第5回総会、4月14日（日）ガーデンパレス東京にて開催。

Jäger フライブルク大学学長来日

2002年 7月05日・07日 Freiburg Alumni Meeting, Große Tanzball, 都築正和会員ご夫妻出席。

2003年 第6回総会、5月11日（日）ドイツ文化会館（東京）にて開催。 Jäger 学長来日

2004年 第7回総会、9月26日（日）ドイツ文化会館（東京）にて開催。

2005年 第8回総会、9月11日（日）有壬記念館（新潟大学）にて開催。Vogt 教授来日、追手教授担当。

2006年 第9回総会、9月02日（土）ドイツ文化会館（東京）、会長交代、川井→都築正和教授

2007年 第10回総会、9月15日（土）ドイツ文化会館（東京）

2007年 7月6日・8日 フライブルグ大学 550 年祭開催

Freiburg Albert-Ludwigs Universität 550 Jubiläum 出席報告（日本人20名超え出席）

2008年 第11回総会、9月06日（土）、静岡市にて開催。

2009年 第12回総会、9月15日（土）、ドイツ文化会館（東京）にて開催。

2010年 第13回総会、2010年9月25日（土）東京大学医学部教育研究棟、2階セミナー室にて開催。

「講演会」新フライブルグ大学学長 Prof. Dr. Hans-Jochen Schiewer の代理として副学長 Prof. Dr. Jürgen Rühle 氏による講演。テーマは「フライブルグ大学の現状と課題」。

（2007年10月にはフライブルグ大学がドイツの学問研究機関として名誉ある “Exzellenzinitiative” の地位を獲得され “Exzellenzuniversität” となった。その後も着実な発展を遂げている。） 「懇親会」13階 カポ・ペリカーノ（イタリアン）にて

2011年 09月23日（金）第14回総会、ドイツ文化会館（東京）にて通常総会、講演会、懇親会。

2011年 7月06-08日、第7回国際フライブルグ・アルムニ会が、フライブルグ大学にて開催、

都築会長出席。なお、“Exzellenzinitiative” の地位が、今回は認可されなかったと報告された。

2012年 7月6日・8日 Freiburg Alumni Meeting 都築会長、島田信江会員（フライブルク在住）が出席。

2012年 9月15日（土）第15回総会 城 謙輔 副会長が担当して、仙台市にて開催され、学術講演会、懇親会。その後、石巻市見学ツアーなど充実したプログラムで開催される。

2013年 1月24日（木）Freiburg にて大学学長新年講演会、都築正和会長、島田信江会員が出席。

2013年 3月27日（水）Freiburg 大学 Rektor Prof. Dr. Dr. H.J. Schiewer 来日し、京都訪問。

立命館大学にて、講演会と日本アルムニ・フライブルク会開催。

2013年 7月12（金）-13日（土）Treffen der Alumni-Clubvorstände im Haus „Zur lieben Hand “ が Der Universitätsmarkt am Münsterplatz Freiburg にて開催された。都築会長、島田会員が出席。なお、“Exzellenzinitiative” の地位が今回の見直しで一部復活との報告があった。

2013年9月21日(土) 第16回通常総会をドイツ学術交流会事務所内(東京)にて開催。

2014年6月14日(土) 第17回通常総会を東京・ドイツ学術交流会事務所内にて開催。

DAAD 友の会、日本ケルン・アルムニ・クラブ、日本フンボルト協会と  
懇親会を共催した。

2014年11月16日(土) フライブルク大学国際課 Christian Tischer 氏、国際語学コース Frau Astrid  
Nothen と Frau Dorothea Rösch が来日。その際に関東地域・アルムニ会メンバーと交流会を開催した。

(以上)

### [会員の皆様へのお知らせ]

★2015年1月19日(月) 19:30(現地時間) からフライブルク大学学長 Prof.Dr.Hans-Jochen Schiewer  
による Neujahrrede が開催されますので、下記のリンクをご覧ください。

<https://mediathek.vm.uni-freiburg.de/index.php?cmd=livestream>

また、下記の大学の Podcast-Portal から後も後日ご覧いただけます。 <http://podcasts.uni-freiburg.de/>

★日本フライブルク・アルムニ会会員の若手ピアニスト・泉麻衣子さんが下記の通りピアノリサイタル  
を開催されます。会員の皆様方には是非若手の演奏家のご支援を頂ければ幸いです。

#### 神戸芸術センター定期演奏会 泉 麻衣子 ピアノリサイタル

【日時】 2015年 4月5日(日) 14:00 開場 / 14:30 開演

【場所】 神戸芸術センター 2階芸術劇場 (1100席)

※新神戸駅より徒歩4分 三宮駅より徒歩15分

【入場料】 学生¥1,500 一般¥2,000 (全席自由)

#### 【プログラム】

メンデルスゾーン 厳格なる変奏曲

シューマン 3つの幻想小曲

ラフマニノフ ピアノソナタ第二番

ブラームス ホルントリオ 他

【賛助共演】 福澤里泉 vn 岡田喜美子 hrn 【主催】 芸術センター

2015年1月19日 京都衣笠

編集責任： 出口雅久

日本フライブルク・アルムニ会会長 (立命館大学法学部教授)

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

Tel: 075-466-3002 Fax: 075-465-8294

E-mail: [mdt00298@law.ritsumei.ac.jp](mailto:mdt00298@law.ritsumei.ac.jp)